

平成17年度事業報告書

平成17年5月1日から平成18年4月30日まで

(特定非営利活動法人 GEMBU)

1 事業の成果

当法人の会員数は、正会員 69 名、賛助会員 28 名となり、今年度目標としていた 100 名に若干かけるものの、ほぼ目標を達成いたしました。来年度以降、当法人の活動を広め、更に会員を増やしていきたいと考えております。

植樹事業につきましては、9月25日、10月1日、2日にどんぐり拾いを実施。会員や、下北地方森林組合の有志の方々と、トチ、ナラの実を拾いました。

10月10日に、「第1回ふるさとの森 10,000 本植樹祭」と銘打ち、大畑町水木沢の旧大畑線防風林跡地において植樹祭を開催いたしました。

当法人の名誉顧問であり、横浜国立大学名誉教授である宮脇昭先生に陣頭指揮を執っていただき、参加者総勢 300 人、植樹本数約 8,000 本を行ないました。青森県林政課長にもご挨拶とご参加をしていただきました。また、むつ市からも全面的な協力を受けました。

当初、参加者 500 名、10,000 本の植樹を目標としており、数字的には若干少なくなりましたが、第一回目の植樹祭としては成功であったと思っております。県外参加者も 65 名を数え、都市生活者と地元住民との交流の場を設けるという目的の第一歩を達成できたと考えております。

植樹した苗木は、今年度末には新芽も出始め、活着率は 90%を超える、非常に良い結果となっております。

今年度作成しましたポット苗は、ブナ、クヌギなど昨年よりも種類を増やし、13 種類 20,100 個を作成いたしました。新たな種類の実については、前年度のポット苗育苗と同様、手探り状態での育苗となりますが、今後もどんどん苗木の種類を増やしていきたいと考えております。

来年度に関しましては、7月に、植樹をした場所における草取り会の実施を予定しております。10月15日に第2回ふるさとの森 10,000 本植樹祭を開催する予定です。また、植樹祭の前日に森林シンポジウムをNPO法人大畑森林環境サポートと共催で開催する予定となっております。

当法人のもうひとつの事業である「鉄道文化遺産の保存」事業については、既存の鉄道動態保存団体であり、当法人の団体正会員でもある「大畑線キハ 85 動態保存会」と協力し、また敷地所有者であり株式会社柏翠のご協力もいただき、現在のレールを 100 m延長する工事を 7月19日に実施いたしました。希望者を募り、レール敷設工事の一部を手伝っていただく、という企画も行い、参加者に喜ばれました。

来年度は、保存会が独自で入手した車掌車と腕木信号機のお披露目が 7月に予定されております。

今年度は、本格的な「ふるさとの森づくり」植樹活動と、「鉄道文化遺産の保存」活動の着手に成功した年度と考えております。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
ふるさとの森 づくり事業	・ どんぐり拾い	9月 24日	薬研野営場	15名	地元在住者 20名	10
	・ ふるさとの森 10,000 本植樹祭	10月 10日	むつ市大畑 町水木沢		地元在住者、 県外参加者 284名	5,010
鉄道文化遺産 の保存事業	・ レール敷設イベント	7月 19日	むつ市大畑 町旧大畑駅	20名	地元在住者、 県外参加者、 旅行者 100名	2,198